

令和6年8月5日

広報資料

(京都市政・青灯・近畿電鉄同時)

阪急電鉄株式会社  
〔 広報部06-6373-5092 〕  
京都市都市計画局  
〔 まち再生・創造推進室 〕  
075-222-3503

**阪急電鉄×京都市による、夏遊び特別企画**  
**「洛西高架下こども大学～らくさい生き物ラボ～」を開催**  
～ 川遊び体験や生き物の観察を通じて、環境保全について遊びながら学ぼう ～



阪急電鉄と京都市では、阪急京都線洛西口駅付近の高架下にある<sup>トート</sup>TauT阪急洛西口を拠点として、西京区エリアの活性化に向けたまちづくりに取り組んでいます。

この度、阪急電鉄と京都市は、西京区内の小畑川において、小・中学生を対象とした特別企画「洛西高架下こども大学～らくさい生き物ラボ～」を開催しますので、お知らせします。

本企画は、昨年初めて開催し、大変好評を博した人気の体験型イベントです。小畑川での川遊び体験や、川の中や川辺にいる生き物の観察のほか、京都の自然と私たちの暮らしとのつながりを学ぶことを通じて、環境問題について自ら考え、行動し、持続可能な社会を構築する担い手づくりを目指します。

洛西の身近な自然をとことん楽しめるイベントですので、奮って御参加ください！

## 1 開催日時・集合場所

### (1) 開催日時

令和6年8月31日（土）、9月1日（日）

両日とも 午前の部 午前9時～正午

午後の部 午後1時～午後4時

### (2) 集合場所

TauT 阪急洛西口 エントランススペース

所在地：京都市西京区川島五反長町18-2（「TauT 阪急洛西口」内）

アクセス：阪急京都線「洛西口駅」から徒歩1.5分

JR京都線「桂川駅」から徒歩20分

※施設専用の駐車場がないため、可能な限り公共交通機関を御利用ください。

※TauT 阪急洛西口エントランススペースに集合後、現地（小畑川）へバスで移動します。

## 2 内容

現地（小畑川）で以下の内容を実施

体験：「川に入ってガサガサしてみよう～！」

洛西ニュータウンを流れる小畑川で、タモ網を使って生き物を採取する川遊びをします。また、正しい川遊びの仕方も学びます。

講習：「生き物観察会」と「小畑川周辺の自然環境の変化」

小畑川で自身が採取した生き物の観察や分類を通じて、研究の楽しさを実感いただきます。また、小畑川周辺の自然環境の変化を学びながら、京都の自然と私たちの暮らしとのつながりについて考えます。

## 3 対象者

小学生・中学生

※小学生は保護者の同伴が必要です。

## 4 参加費

小学生・中学生：4,000円（税込）

小学生の保護者：1,000円（税込）

※洛西口～小畑川のバス代が含まれています。

## 5 定員

各回30名

## 6 応募方法・募集期間

### (1) 応募方法

TauT 阪急洛西口の公式ウェブサイトからお申込みください。

(URL)：[https://www.taut-rakusaiguchi.com/news/ikimono-lab\\_2024/](https://www.taut-rakusaiguchi.com/news/ikimono-lab_2024/)

### (2) 募集期間

令和6年8月30日（金）まで

※定員に達した時点で募集終了となります。お早めにお申し込みください。

## 7 お客様からのお問い合わせ先

- 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 TauT 阪急洛西口事業部  
電話：06-6373-5369（平日 午前9時～午後5時）
- 京都市都市計画局 まち再生・創造推進室  
電話：075-222-3503（平日 午前9時～午後5時）

## 【参考】

### ■プログラム（予定）について

※雨天の場合など、安全確保のためプログラムが変更となります。

（午前の部）	（午後の部）	
9：00	13：00	受付開始
9：15	13：15	小畑川へバス移動
9：30	13：30	「川に入ってガサガサしてみよう～！」
※班に分かれて遊びます。（こども5人で1班 合計6班）		
※保護者の方は、こどもと一緒に参加していただけます。		
11：00	15：00	「生物観察と講習」
12：00～	16：00～	洛西口へバス移動 解散

### ■「洛西高架下こども大学」について

阪急電鉄では、地域交流の促進を目的として、人が行き交う高架下を大学のキャンパスに見立てて、誰もが自由に参加できるセミナーや交流型イベントを実施する「洛西高架下大学」を平成31年2月に開始しました。そこから派生した「洛西高架下こども大学」は、自然環境などをテーマとした、こどもが楽しく学べるワークショップ（令和3年スタート）です。

日々の暮らしをより豊かにすることを目指して、これからも地域のこどもたちが、身近な課題について考えるきっかけを提供してまいります。